

建築物に係るエネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準  
一次エネルギー消費量計算結果(住宅)

1. 住宅/住宅(タイプ)の設計一次エネルギー消費量等

(1)住宅/住戸(タイプ)の名称(建て方)	日本 太郎 邸 新築工事(戸建住宅)			
(2)床面積	主たる居室 41.39㎡	その他の居室 57.11㎡	非居室 47.24㎡	計 145.74㎡
(3)地域の区分/年間日射地域区分	6地域		*****	
(4)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次エネルギー[MJ]	基準一次エネルギー[MJ]
			19786	20209
			7171	7995
			1505	5388
			18831	25091
			5749	13740
			21241	21241
	太陽光発電等による削減量		---	---
	合計		74282	93665
(5)参考値 *一次エネルギー換算の値	発電量(コージェネレーション)		---	---
	発電量(太陽光発電)		---	---
	売電量		---	---
(6)判定	一次エネルギー消費量[GJ/(戸・年)]		74.3	86.5
	結果		達成	
(7)BEI	一次エネルギー消費量(その他除く)[GJ/(戸・年)]		53.1	72.5
	BEI		0.74	

本計算結果は、当該住宅が建設される地域区分及び設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。

2. 当該特定住宅(住宅タイプ)の仕様

(1) 暖冷房仕様

外皮/設備項目	外皮/設備の仕様	
A. 外皮	評価方法	簡易的に求めた外皮面積の合計を用いて評価する
	床の断熱方法	基礎断熱
	UA値	0.68 W/m2K
	日射熱取得率	暖房期 η AH: 2.3 冷房期 η AC: 2.2
	通風の利用	主居室: 通風を利用しない その他の居室: 通風を利用しない
	蓄熱の利用	蓄熱を利用しない
	床下換気システムの利用	床下換気システムを利用しない
B. 暖房設備	運転方式	居室のみを暖房する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(イ) 容量可変型コンプレッサー: 搭載しない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(イ) 容量可変型コンプレッサー: 搭載しない
C. 冷房設備	運転方式	居室のみを冷房する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(イ) 容量可変型コンプレッサー: 搭載しない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー エネルギー消費効率の区分: 区分(イ) 容量可変型コンプレッサー: 搭載しない

## (2) 換気仕様

設備項目	設備の仕様
D.換気	ダクト式第二種またはダクト式第三種換気設備 比消費電力:0.06 W/(m <sup>3</sup> /h) 換気回数:0.5回/h
E.熱交換	熱交換型換気を採用しない

## (3) 給湯仕様

設備項目	設備の仕様
F.給湯設備	給湯設備・浴室等の有無
	給湯設備がある(浴室等がある)
	熱源機
	ガス潜熱回収型給湯機(モード熱効率: 92.5%) ふろ給湯機(追焚あり)
	配管
	ヘッダー方式(ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下)
	水栓
	台所: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(節湯方式を採用しない) 浴室シャワー: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(手元止水) 洗面: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(水優先吐水)
	浴槽
	高断熱浴槽を採用する
G.太陽給湯	採用しない

## (4) 照明仕様

設備項目	設備の仕様
H.照明設備	主たる居室
	すべての機器においてLEDを使用している 多灯分散照明方式の採用: 採用しない 調光が可能な制御: 採用する
	その他の居室
	すべての機器においてLEDを使用している 調光が可能な制御: 採用しない
	非居室
	すべての機器においてLEDを使用している 人感センサー: 採用する

## (5) 発電仕様

設備項目	設備の仕様
I.太陽光発電設備	パネル面数
	太陽光発電を採用しない
	その1
	*****
	その2
	*****
	その3
	*****
	その4
	*****
	パワコン
	*****
J.コージェネレーションシステム	なし

